1.作業手順

※注意
作業中、取り外した部品は再利用するものがあるので、
なくさないように注意してください。

(1)刈取部右下カバーを取り外してください。

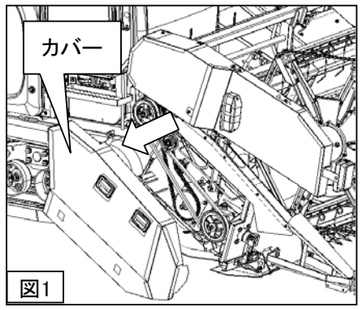


図1

(2)ノブボルトを2ヶ所取り外し、刈取部左下カバーを取り外してください。

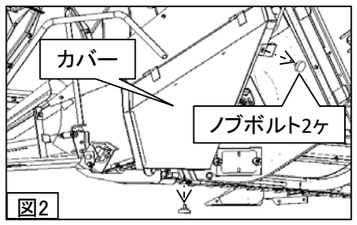


図2

(3)②ブラケットを刈取フレームに③ボルトで仮止めしてください。
（シャフト挿入時に自由に動かせるように仮止めしてください。）

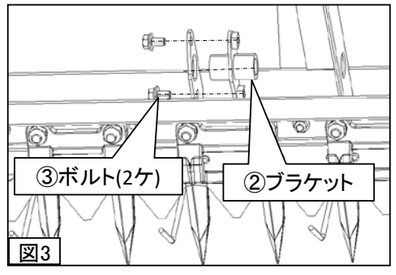


図3

(4)⑤シャフト(1308mm)を刈取フレーム右側面のパイプ穴に挿入してください。
シャフトは刈取フレームのパイプと②ブラケットのパイプ穴の2ヶ所を通してください。

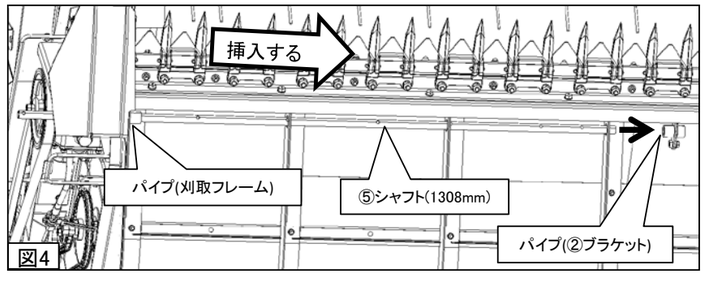


図4

同様に④シャフト(853mm)を刈取フレーム左側面のパイプ穴に
挿入してください。

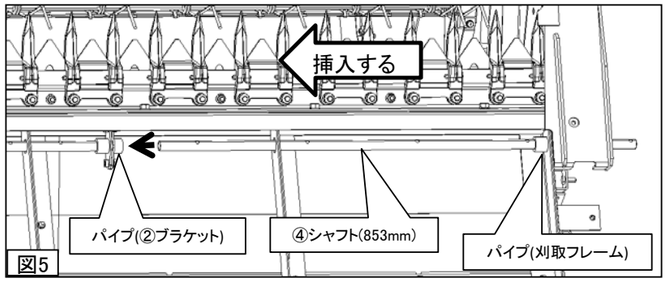


図5

④⑤シャフトL,R挿入後、両シャフトがスムーズに回転する位置で
②ブラケットを③ボルトで固定してください。(図3参照)

(5)フレーム右側⑤シャフト(1308mm)先端に⑭スプリングR、⑨アームRの順に
差し込み、⑦スプリングピンで固定してください。

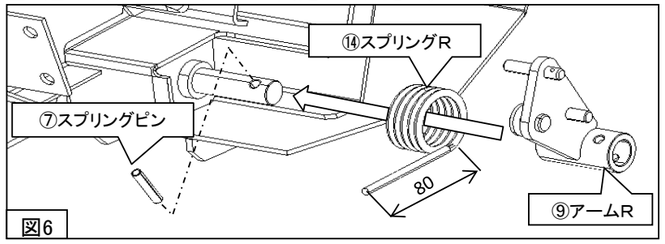


図6

このとき、⑦スプリングピンの溝が軸と直角となるよう固定してください。
また、⑭スプリングRは⑨アームRのピンに引っ掛けて固定してください。

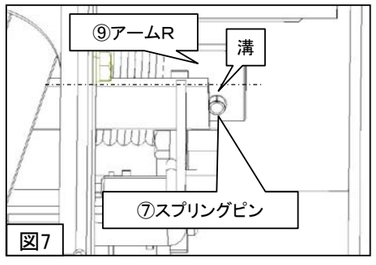


図7

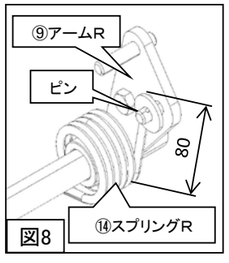
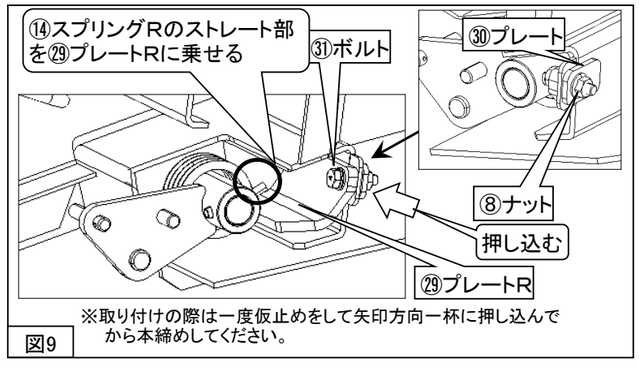


図8

(6)㉙プレートR、㉚プレートを㉛ボルト、⑧ナットで取り付けてください。



※取り付けの際は一度仮止めをして矢印方向一杯に押し込んで
から本締めしてください。
図9

(7)同様にフレーム左側④シャフト(853mm)先端に⑬スプリングL、
⑥アームLの順に差し込み、⑦スプリングピンで固定してください。

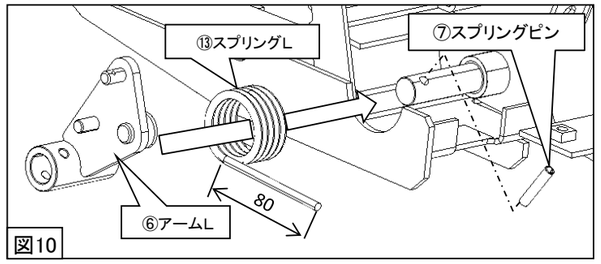


図10

このとき、⑦スプリングピンの溝が軸と直角となるよう固定してください。
また、⑬スプリングLは⑥アームLのピンに引っ掛けて固定してください。

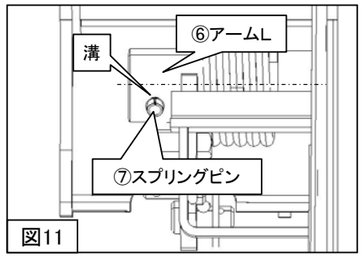


図11

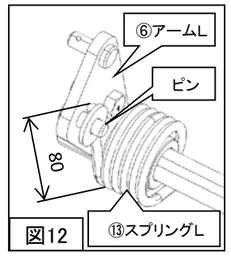


図12

(8)㉘プレートLを㉛ボルト、㉜ワッシャ、⑧ナットで取り付けてください。

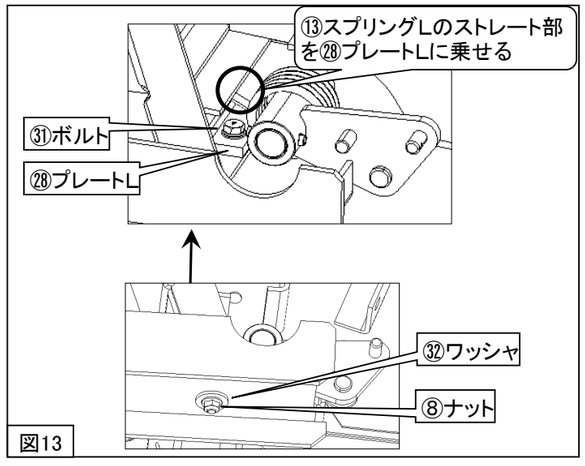
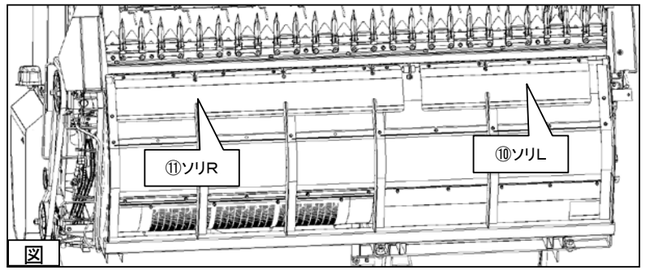


図13

(9)⑩ソリL・⑪ソリRを(4)で取り付けた④⑤シャフトL,Rに差し込み、
⑫ボルト・⑧ナットで固定してください。



図

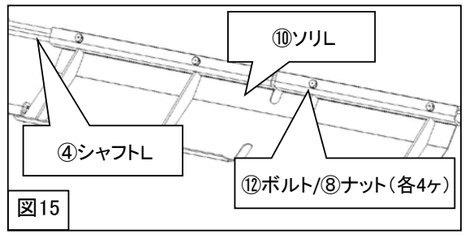


図15

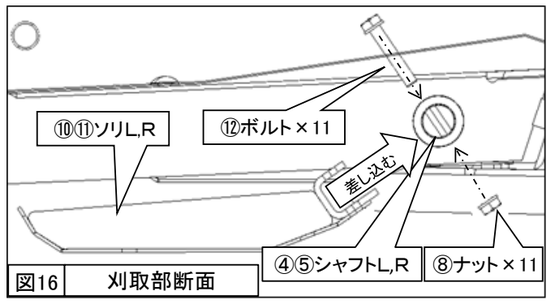


図16　刈取部断面

(10)フレーム右側のプレートに、⑰ポテンショメータアッシRを取り付け、
⑯ボルト2本で固定してください。

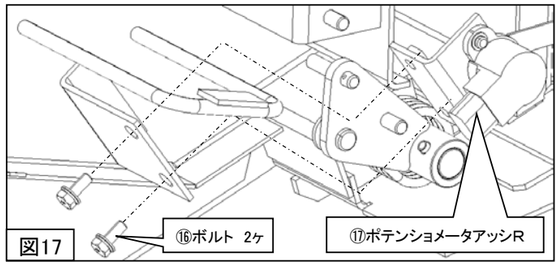


図17

このとき、⑰ポテンショメータアッシRのアームの組付け方向に注意し、
ポテンショアームが⑨アームRのピン下側となるよう固定してください。

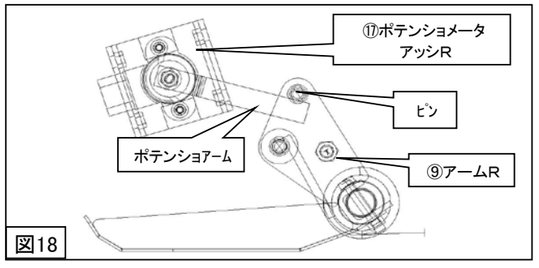


図18

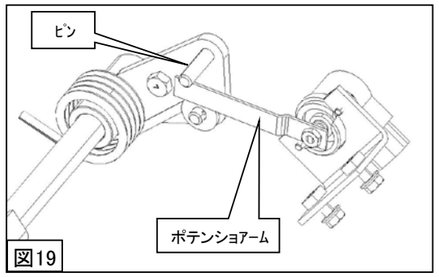


図19

⑪ソリRを上に持ち上げ⑨アームRとフレームのネジ部を⑱ストッパで
連結し、⑲ナットで固定してください。（収納位置：図20）
また、⑱ストッパを⑨アームRに固定し、⑪ソリRをフリーにした状態（解
除位置：図21）で、⑪ソリRが自由に回動することを確認してください。

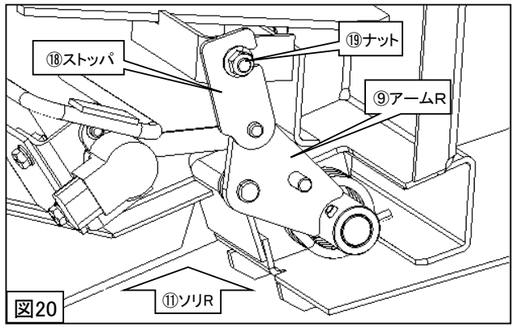


図20

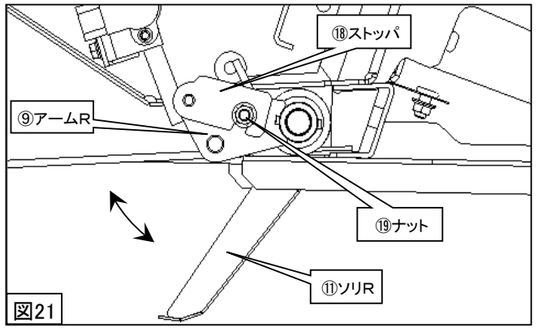


図21

(11)同様にフレーム左側のプレートに⑮ポテンショメータアッシL
を取り付け、⑯ボルト2本で固定してください。

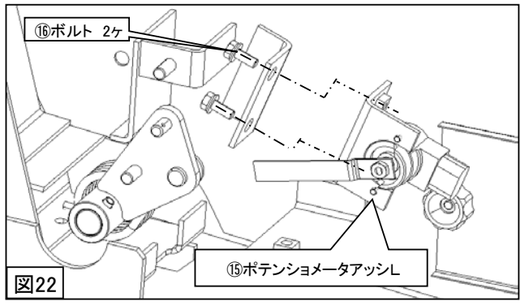


図22

このとき⑮ポテンショメータアッシLのアームの組付け方向に注意し、
ポテンショアームが⑥アームLのピン下側となるよう固定してください。

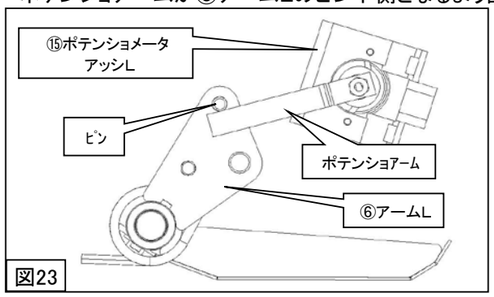


図23

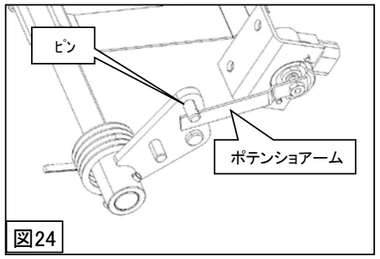


図24

⑩ソリLを上に持ち上げ⑥アームLとフレームのネジ部を⑱ストッパで
連結し、⑲ナットで固定してください。（収納位置：図25）
また、⑱ストッパを⑥アームLに固定し、⑩ソリLをフリーにした状態（解
除位置：図26）で、⑩ソリLが自由に回動することを確認してください。

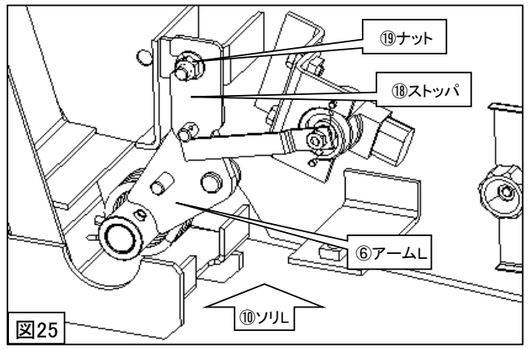


図25

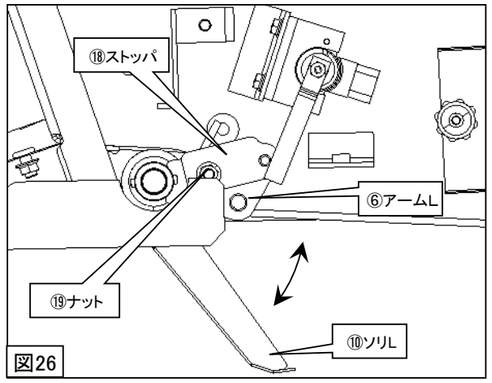
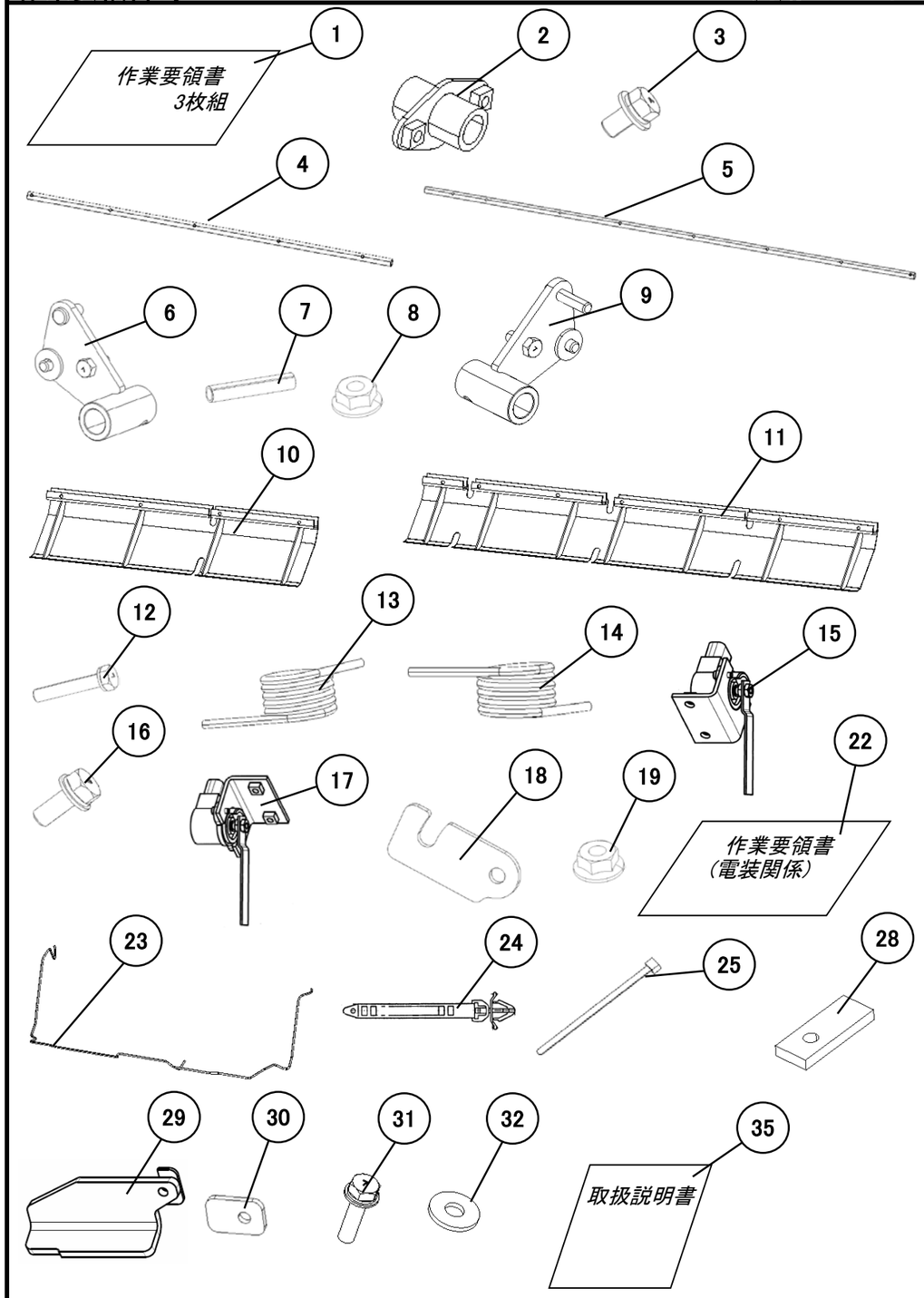


図26

(12)電装部品を組付けてください。（詳細は作業要領書2を参照します）

(13)手順（1）～（2）で外したカバーを取り付けてください。

汎用コンバイン750W型　対地平行・刈高さ自動キット（部品一覧表）



NO	部　品　名　称	数　量	備　　考
1	CHART,INSTALLATION 1	1	作業要領書［本紙含む3枚組み］
2	BRACKET	1	ブラケット
3	BOLT	2	M8 ワッシャ＋Sワッシャ付ボルト(16mm)
4	SHAFT	1	シャフト(853mm/5穴)
5	SHAFT	1	シャフト(1308mm/8穴)
6	ARM L	1	アームL
7	PIN SPRING	2	スプリングピン
8	NUT	14	M6フランジナット
9	ARM R	1	アームR
10	SLEIGH L	1	ソリL
11	SLEIGH R	1	ソリR
12	BOLT	12	M6 Sワッシャ付ボルト(35mm)
13	SPRING L	1	スプリングL
14	SPRING R	1	スプリングR
15	POTENTIOMETER ASSY L	1	ポテンショメータアッシL
16	BOLT	4	M6 ワッシャ＋Sワッシャ付ボルト(16mm)
17	POTENTIOMETER ASSY R	1	ポテンショメータアッシR
18	STOPPER	2	ストッパ
19	NUT	2	M8フランジナット
20			
21			
22	CHART,INSTALLATION 2	1	作業要領書（電装関係）
23	HARNESS S	1	センサ用ハーネス
24	BAND	4	ワイヤバンド
25	BAND WIRE	6	ワイヤバンド
26			
27			
28	PLATE L	1	プレートL
29	PLATE R	1	プレートR
30	PLATE	1	プレート
31	BOLT	2	M6 ワッシャ＋Sワッシャ付ボルト(25mm)
32	WASHER	1	ワッシャ(φ22 t2.3)
33			
34			
35	INSTRUCTION	1	取扱説明書

作業要領書2　　汎用コンバイン750W型　対地平行・刈高さ自動キット（電装関係）

1.配索部品配置図

配索部品構成は、作業要領書1に記載してあります。

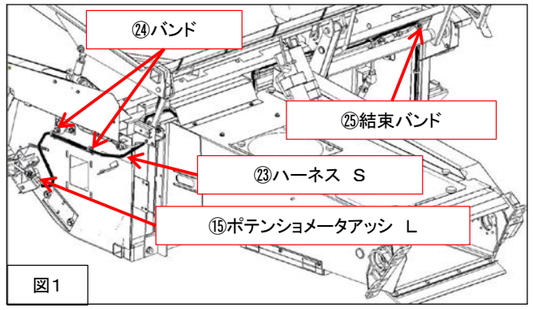


図1

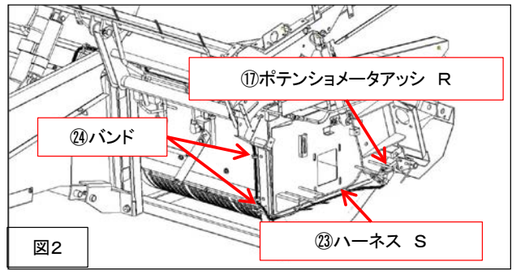


図2

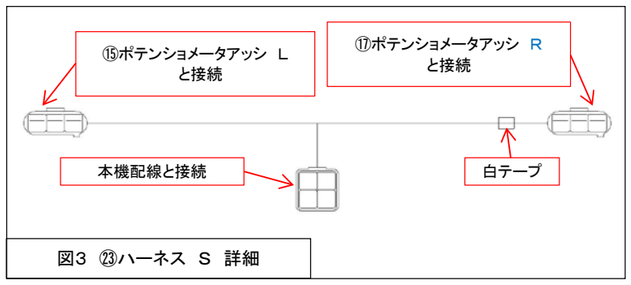


図3　㉓ハーネス　S　詳細

2.配索部品取付要領

（1）㉓ハーネスSと本機配線のテープで固定してある
　　カプラ（4極）を接続します。

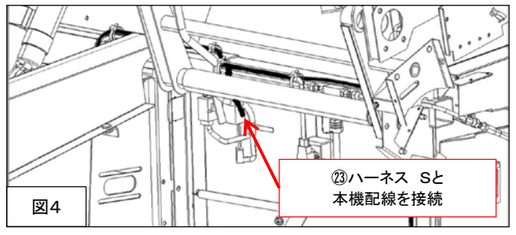


図4

（2）㉓ハーネスSの白テープが右側となるよう、刈取部配線に
　　沿って配索します。このとき、既存のバンド（2ヶ所）を外し、同じ
　　位置に刈取部配線と共に㉕結束バンドで結束します。（2ヶ所）
　　既存のバンドは外した後は使用しません。

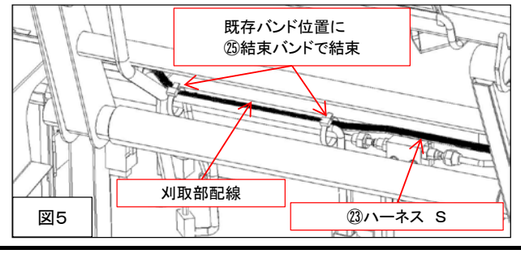


図5

（3）㉓ハーネスSの白テープ位置に㉕結束バンドで
　　パイプと共に結束します。
（4）㉔バンド（2ヶ所）をプレートの穴に差込み固定した後、
　　㉓ハーネスSを結束します。

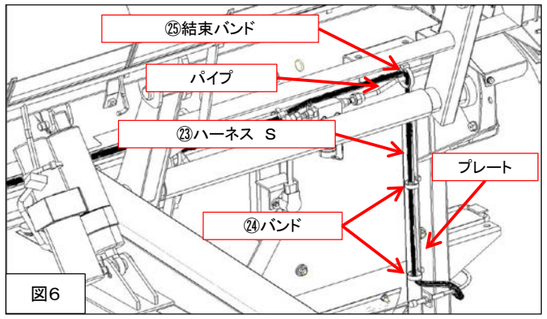


図6

（5）⑰ポテンショメータアッシRと接続した後、㉓ハーネスS
　　を溶接クランプで固定します。（3ヶ所）　このとき、
　　㉓ハーネスSのたるみは、A区間で調整します。

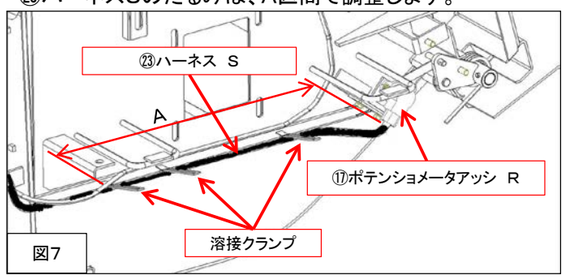


図7

（6）㉓ハーネスSの左側を刈取部配線に沿って配索します。
　　このとき、既存のバンド（3ヶ所）を外し、同じ位置に刈取部
　　配線と共に㉕結束バンドで結束します。（3ヶ所）
　　既存のバンドは外した後は使用しません。

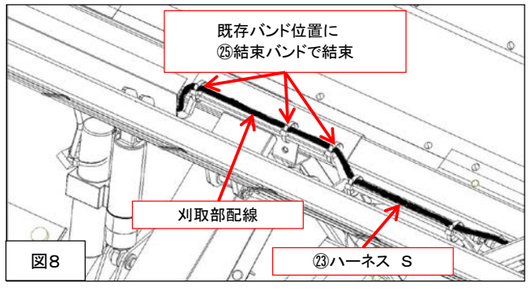


図8

（7）㉓ハーネスSを溶接クランプで固定します。
（8）㉔バンド（2ヶ所）をプレートの穴に差込み固定した後、
　　㉓ハーネスSを結束します。
（9）⑮ポテンショメータアッシLと接続した後、㉓ハーネスS
　　を溶接クランプで固定します。このとき、㉓ハーネスSの
　　たるみは、B区間で調整します。

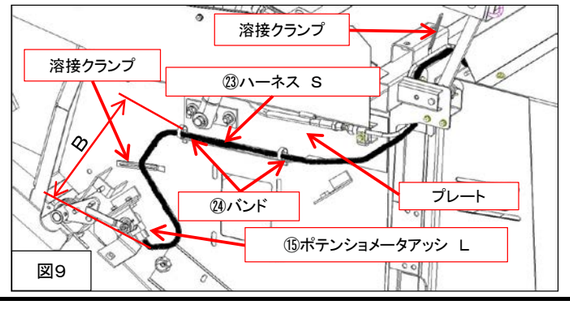


図9

3.センサ記憶要領

⑩⑪ソリL,R収納位置、解除位置、刈取部接地位置の記憶
作業を行います。水平な場所で作業を行ってください。

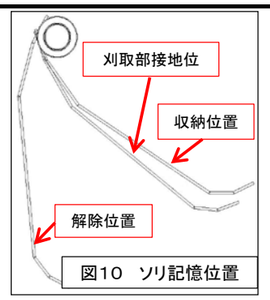


図10　ソリ記憶位置

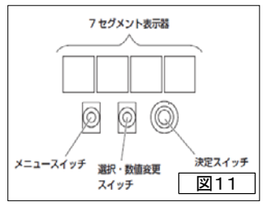


図11

3．1　刈取部接地位置

（1）左右の⑩⑪ソリL,Rを解除位置にします。
　　（作業要領書1を参照してください）
（2）エンジンを始動し、刈取部が地面に接地するまでリフトを
　　下降させます。
（3）エンジンを切ります。
（4）センサ記憶モードを起動します。
　　決定スイッチ　≪ON≫
　　選択スイッチ　≪下げ≫を押した状態で、スタータキーONします。
　　ブザーが2回鳴り、センサ記憶モードが起動します。
（5）メニュースイッチと選択・数値変更スイッチでコード番号を『2160』にします。
（6）決定スイッチを押して、記憶コードを決定します。
（7）再度、決定スイッチ押して、そりセンサの刈取部接地位置を記憶します。
　　記憶値が正常であれば、ブザーが1回鳴り、『2161』が表示されます。

3．2　解除位置

（1）エンジンを始動し、リフトを上昇させます。
（2）エンジンを切り、⑩⑪ソリL,Rが解除位置であることを確認します。
（3）センサ記憶モードを起動します。（上記3．1（4）を参照してください）
（4）メニュースイッチと選択・数値変更スイッチでコード番号を『2150』にします。
（5）決定スイッチを押して、記憶コードを決定します。
（6）再度、決定スイッチ押して、そりセンサの解除位置を記憶します。
　　記憶値が正常であれば、ブザーが1回鳴り、『2151』が表示されます。

3．3　収納位置

（1）左右の⑩⑪ソリL,Rを収納位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（2）センサ記憶モードを起動します。（上記3．1（4）を参照してください）
（3）メニュースイッチと選択・数値変更スイッチでコード番号を『2140』にします。
（4）決定スイッチを押して、記憶コードを決定します。
（5）再度、決定スイッチ押して、そりセンサの収納位置を記憶します。
　　記憶値が正常であれば、ブザーが1回鳴り、『2141』が表示されます。

4　入力チェック要領

（1）キーONし、メニュースイッチでメニュー番号『1』にし、
　　決定スイッチを押してコードを『1011』にすると、入力チェックモードが起動します。
（2）刈高調整ダイヤルを≪最右≫にした状態でリール回転自動をON状態とします。
（3）右の⑩⑪ソリL,Rを収納位置、解除位置、刈取部接地位置にした時、
　　それぞれの位置でブザー断続音がすることを確認します。
　　この時、断続音がしない場合は、再度、センサの記憶を行ってください。
（4）刈高調整ダイヤルを≪最左≫にした状態でリール回転自動をON状態とします。
（5）左の⑩⑪ソリL,Rを収納位置、解除位置、刈取部接地位置にした時、
　　それぞれの位置でブザー断続音がすることを確認します。
　　この時、断続音がしない場合は、再度、センサの記憶を行ってください。
（6）キーを切ると入力チェックモード終了です。

5．作動確認要領

（1）左右の⑩⑪ソリL,Rを解除位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（2）対地刈高スイッチを押し、対地刈高ランプが≪点滅≫することを確認します。
（3）左右の⑩⑪ソリL,Rを収納位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（4）対地刈高スイッチを押しても、対地刈高ランプが≪点滅≫しないことを確認します。

各部の配置については、取扱説明書で確認してください。